

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



【新玉小学校】

<第1～6学年：ユネスコスクール WEEK>

本校は、ユネスコスクール登録校であり、モザンビークへの支援活動、JRC・ESD委員会実施の「“届けよう、服のチカラ”プロジェクト」「書き損じはがき集め」等、ESDの考え方を大切に活動全校体制で行っている。10年以上にわたり、地域の理解と協力に支えられ、本校の特色ある活動の一つとなっている。

○ 全学年 テレビ放送

本校のESD等の取組について、児童の関心を高めるために、先立って朝の時間にテレビ放送で、これまでの活動紹介を行った。

○ 1年生 「モザンビークの『衣』って？」

外国の本の読み聞かせを導入として、伝統的な衣服「カプラナ」について、実際に触ったり身に着けたりしながら、これから交流していくモザンビークへの関心を高めた。

○ 2年生 「モザンビークの『食』って？」

外国の話の紙芝居を導入として、トウモロコシで作る主食「シマ」について教わり、食べ物を通じてモザンビークについての理解を深めた。また、同じくらいの年齢の子どもが行う水汲みの様子を知り、その大変さを実感した。

○ 3年生 「モザンビークの『住』って？」

都市部や農村部の建物の紹介を通して、モザンビークの住環境について学習した。ゾウの標本があることや、それらが作られた背景を教わったり、野生動物との共存について考えたりすることもできた。

○ 4年生 「交流しよう～モザンビークと～」

オンラインで現地と繋ぎ、東京パラリンピックに選手として出場した方の今について教わった。手術を受けた方がどこまで回復したか、本校の支援はどのように生かされたかを理解することができた。

○ 5年生 「交流しよう～モザンビークの昔そして今～」

講師の所属するNPO団体がどんな活動をしているのか、その支援を受けながら現在までどのように発展してきたかについて理解を深めることができた。

○ 6年生 「交流しよう～モザンビークの今そして未来へ～」

交流の象徴とも言えるモザンビークに作られた公民館が、今どのように使われているかを知り、「続ける」支援の大切さについて考えることができた。

